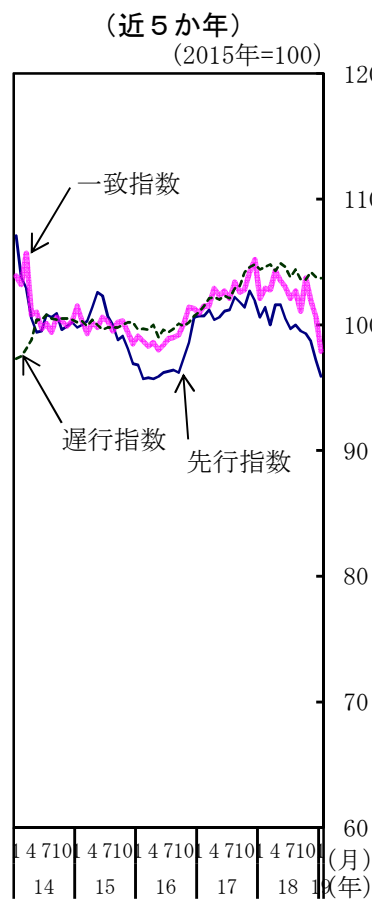
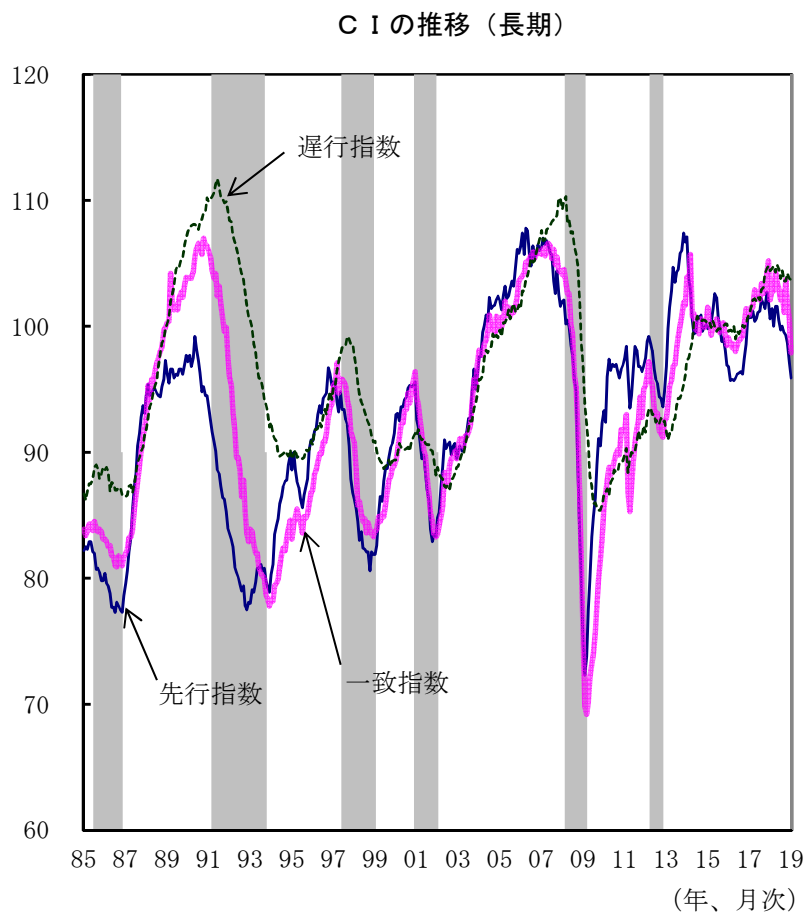


(参考1) 景気動向指数



一致指数採用系列の寄与度

	18年10月	11月	12月	19年1月
一致指数	103.7	101.9	100.6	97.9
生産指数(鉱工業)	0.39	-0.15	-0.01	-0.65
鉱工業用生産財出荷指数	0.69	-0.47	-0.05	-0.49
耐久消費財出荷指数	0.32	-0.08	0.09	-0.59
寄与度 所定外労働時間指数(調査産業計)	0.46	-0.05	-0.52	-0.01
投資財出荷指数(除輸送機械)	0.46	-0.29	-0.13	-0.77
商業販売額(小売業、前年比)	0.14	-0.22	-0.01	-0.09
商業販売額(卸売業、前年比)	0.48	-0.27	-0.31	-0.03
営業利益(全産業)	-0.13	-0.23	-0.23	0.03
有効求人倍率(除学卒)	-0.23	0.00	-0.12	-0.15

景気基準日付

循環	谷(年/月)	山(年/月)	谷(年/月)	期間(か月)		
				拡張	後退	全循環
1		1951/6	51/10		4	
2	51/10	54/1	54/11	27	10	37
3	54/11	57/6	58/6	31(神武)	12	43
4	58/6	61/12	62/10	42(岩戸)	10	52
5	62/10	64/10	65/10	24	12	36
6	65/10	70/7	71/12	57(いざなぎ)	17	74
7	71/12	73/11	75/3	23	16	39
8	75/3	77/1	77/10	22	9	31
9	77/10	80/2	83/2	28	36	64
10	83/2	85/6	86/11	28	17	45
11	86/11	91/2	93/10	51(バブル)	32	83
12	93/10	97/5	99/1	43	20	63
13	99/1	2000/11	02/1	22	14	36
14	02/1	08/2	09/3	73	13	86
15	09/3	12/3	12/11	36	8	44
16	12/11					
第2~第15 循環の平均				36.2	16.1	52.4

(備考) 内閣府「景気動向指数」により作成。景気基準日付は内閣府による。  
ただし、「神武(景気)」・「岩戸(景気)」等は景気拡張期の通称であり、公式のものではない。  
なお、グラフのシャドー部分は景気後退期を示す。

(備考) 第18回景気動向指数研究会(2018年12月13日開催)において、  
第15循環の景気の谷(2012年11月)以降、景気の山はつかなかった  
との結論となった。